

# 進路だより

群馬県立しろがね特別支援学校

平成30年11月29日（木）

## ◆ 中学部 第2回校内就業体験

ボールペンの組み立て

スーパー竿ピンチの袋詰め

学部間交流学習（小学部児童）



### 校内就業体験を終えた生徒のコメント

Aさん「声の大きさを頑張ったのでボーナスをもらえてうれしかったです」

Bくん「今回はおじぎを頑張りました。3学期は大きな声で報告が言えるように頑張りたいです」

Cさん「報告・連絡は大きい声で言わないと相手にしっかり伝わらないと思いました」

中学部の校内就業体験が10/22（月）～10/26（金）の5日間行われました。校内就業体験では、Tピンの色分けやスーパー竿ピンチの組み立て・袋詰めなどに取り組みました。

今回は1学期より大きな声で連絡や報告をすることができる生徒が多かったです。作業だけではなくみんなで協力をして道具の準備や作業室の片づけを行うこともできました。学部間交流学習では、今回は小学部の児童が就業体験に参加しました。初めての体験でしたが作業に集中して丁寧に竿ピンチの組み立てができていました。

## ◆ 学部間交流学習～高等部「作業学習」の説明・見学会～

作業班の説明

陶芸班の見学

縫製班の見学



### 学部間交流学習に参加した生徒のコメント

Dさん「いろんな班があって大変そうだなと思いました」

Eくん「自分の将来のためになるとと思いました」

Fさん「自分も今からもっと頑張ろうと思いました」

学部間交流学習として、高等部「作業学習」説明会を実施しました。中学部2・3年の生徒6名が参加し、高等部1年の生徒による高等部での作業学習についての発表を聞いたり、高等部の「縫製班」「陶芸班」「工作班」の授業見学を行ったりしました。参加した中学部の生徒からは、「作業班の数が増え、就業体験や作業学習の作業時間が長くなるなどの話を聞き、高等部の作業学習の大変さが分かった」などの意見が出されました。高等部生徒は「少しずつ諦めずに、達成感もてるように頑張ってください」と、中学部の生徒に激励を送っていました。